



藻かけ

Photo 明石 徹、郷田 満、柴田忠幸、藤井秀和 編集 滝沢 享 稲森 豊、岡田寿夫、杉原武弘

春季大会

滝沢 享

四月八日(日)、岡山県の鴨川・七区調整池に於いて、会員30名とオープン参加3名の参加を得て開催した。

午前7時、互譲橋南詰下流に集合。稲森会長の挨拶、郷田理事長よりオープン参加の橋島宏幸さん、平井躍視さん、高尾秋慶さんが紹介されました。続いて競技方法の説明と昨日の状況報告があり、寒さと強風で殆どアタリも無くボーズだったとの事。

フリーで各自目指すポイントへと向かうが、鴨川筋では他のクラブも例会で既に十数名が入っている。今朝も冷え込みモジリやハタキもなくポイント選定が難しい。

左岸上流や右岸赤屋根付近と下流、本湖の両岸に入池。午前9時頃に赤屋根対岸で40cmのへらブナが釣れたが、午前中はこの一尾のみ。午前10時頃から北西の強風と減水しだして、流れが早くアタリすらない状況。左岸上流はハタキもなく、釣れて来るのは力メだけ。午後3時過ぎに減水も止まり、流れが少し緩やかになり、右岸互譲橋かみ手や赤屋根対岸で数名に待望のへらが釣れた。

午後5時、検寸終了。

鴨川右岸中流の田路さんが最長寸41・3cmと40cmを揃え優勝。2位の私、滝沢もそのかみ手で、3位の藤井秀和さんは互譲橋右岸かみ手で良型を釣り入賞。

釣果率15%





左岸上流のハタキ場の明石さんと平井さん



左岸上流のハタキ場の高尾さん



右岸赤屋根対岸へ午後から移動・橋島さん

春季大会成績表 (ヘラブナ二尾長寸)

優勝	田路 秀一	81.6cm	400点
2位	滝沢 享	79.6cm	390点
3位	藤井 秀和	77.1cm	380点
4位	森田 定美	75.7cm	370点
5位	柴田 忠幸	37.7cm	360点

(以下参加点100点)

藤井 栄子 北尾 博之、松下 英樹
 杉山 健一、伊藤 規行、栗原 天高
 鈴木 誠司 脇阪 博蔵、瀬野 利夫
 高木 勇作、谷名 正博、井上 裕之
 元吉 茂司、岡田 寿夫、白井 良紀
 綱島 清一、郷田 満、大橋 充
 稲森 豊、明石 徹、三木 修
 岡 修司、山本 勉、川上大二郎
 柴田美恵子

(オープン参加)

橋島 宏幸、平井 躍視、高尾 秋慶



左岸赤屋根かみ手へ移動・北尾さん



右岸赤屋根対岸で釣れた41cmのヘラブナ



柴田さん



森田さん



藤井さん



滝沢さん



田路さん



4位入賞の森田さん

優勝者 田路 秀一

今日の集合時間は朝の7時なので、いつもより30分遅く出発し、午前6時45分に到着。

昨日は風が強く、試釣に来た人達は全員釣果無しだったそうだ。今日も同じ状況だと最悪の例会になるのではと、理事さんに召集が掛けられ、例会場所を広げる提案が出され、多数決を取りこのまま鴨川・七区調整池のみで例会を行う事になった。

稲森会長の朝の挨拶の後、競技方法の説明、ゲストの紹介があり、参加者33名で例会がスタートした。

我々はまずトイレタイム。その後左岸上流のクリークを見て、次に集合場所、橋の右岸下流を見に行った。

左岸の河口しも手には数名の会員さんが釣り場に入り準備をしている。

見た限りでは魚の気配がないので、今度は右岸上流を見に行った。ここもシーンとしていて何の気配もない。

何処も今一つなので、最近実績のあった川筋赤屋根対岸付近に入る事にした。

そこには他の会の人達がおり、何人かへらぶなが釣れているとの事。

森田さん、滝沢さんは少しかみ手へ。私は乱杭の所へ入った。竿十一尺で始めたが、何の変化もない。

風が強くなり、寒くなってきたので防寒服を取りに車まで行った。すると滝沢さんがへらぶなを持ってやって来て、40cmあった。こちらにも負けじと頑張っていると、初めてのあたり。魚が掛かり姿を見せるとバカでかい。

全く暴れず玉網で掬おうとした時にハリが外れてしまった。そしてこの後、何のあたりもなくなった。

滝沢さんの所へ様子を見に行くと、時々あたりがあり、バラシているとの事。あたりがないよりはましだと、そのしも手に場所替わり。

昼食後、暫くしてあたりがあり釣れて来たのはマブナ。段々ウキのなじみが遅くなり、魚の気配が感じられる。

すると森田さんがへらぶなを持ってきて検寸すると37・2cm。

こちらもようやくあたりが始め、2回連続のバラシ。その後、更になじみが遅くなり、二節入るあたりで待望の1枚目41・3cmが釣れた。

午後3時過ぎに下流で釣っていた藤井さんがへらぶなを持ってきて、これが2枚目の事。

1枚目が釣れてホツとしていたが、滝沢さんも、私も俄然力が入って来た。そして3時50分頃、滝沢さんが2枚目を釣り、4時頃に二節入るあたりで40・3cmが釣れた。森田さんもその後2枚目を釣り、3人も規定の二尾を確保。

集合場所に戻ると、朝の予想通りあまり釣れておらず何とか優勝です。滝沢さんも2位、森田さんも4位とうれしい結果でした。終了時間がいつもより1時間遅くなっていたのが幸いでした。

大型釣り研究会

4月22日(日)、岡山県の鴨川・七区調整池に於いて会員15名とオープン参加2名で開催。

午前7時、互譲橋南詰に集合。滝沢副会長の挨拶、郷田理事長よりオープン参加の平井躍視さん、高尾秋慶さんが紹介されました。

続いて競技方法の説明と昨日の釣況が報告され、七区調整池左岸河口しも手

でハタキがあり、38cmと41cmが3枚釣れたが、今朝はハタキも少なく釣れそうな雰囲気ではないので、釣り場を見島湖に注ぐ河川へと範囲を広げ、少しでも釣果が出る様に変更。

最近、七区調整池は不調が続く、一般の釣り人も殆ど見かけなくなるほど釣れなくなっている。今日も一般の釣り人1名だけで、ポイントは空いているが決め手がない。

倉敷川では早々にマブナ混じりで36cmが釣れたと一報が入る。七区調整池・鴨川筋には10名が入り、大型ベラを狙い時間まで粘るが、釣れてもマブナやあたりも殆どなかったりと絶不調で高木さんの1枚のみ。

七区調整池堰堤から見島湖向きで優勝魚が釣れ、倉敷川で2名の釣果で計4名しか釣れなかった。(へらぶな36cm以上一尾長寸)

優勝 高尾 秋慶 39・6cm (オープン参加)

- 2位 高木 勇作 39・5cm
- 3位 郷田 満 38・0cm
- 4位 脇阪 博蔵 36・0cm

(以下、釣果なし)

- 岡田 寿夫、白井 良紀、田路 秀一
- 柴田 忠幸、栗原 天高、谷名 正博
- 瀬野 利夫、大橋 充、明石 徹
- 滝沢 享、三木 修、川上大二郎
- 平井躍視(オープン参加)

春季大会へ皆様から賞品寄贈頂きました
有難うございます



春季大会 上位入賞ポイント



春季大会 鴨川・七区調整池 上位入賞者の仕掛け、エサなど

	竿	道糸	ハリス	ハリ	エサ	釣り方	釣果
優勝 田路秀一	15 尺	1.5号	1号	上7号 下7号	上下とも 新べらグルテン α21、いもグル	水深1.2m 床	2枚
2位 滝沢 享	12 尺	2号	1号	上13号 下11号	上 マッシュ、真底、粘麩、へらスミ 下 わたグル、いもグル、新べらグルテン	水深1.1m 床	2枚
3位 藤井秀和	10 尺	2号	1.2号	上9号 下8号	上 マツハ、ダンゴ冬 下 1:1マッシュ、LLグルテン	水深0.8m 片キン	2枚
4位 森田定美	15 尺	1.2号	1号	上8号 下7号	上下とも 新べらグルテン α21、いもグル	水深1.2m 床	2枚
5位 柴田忠幸	11 尺	1.5号	1号	上10号 下9号	上 マッシュ、藻べら、BBマッシュ 下 α21、いもグル、新べらグルテン	水深0.8m 床	1枚